

第四次船橋市子供の読書活動推進計画（素案）に対するパブリック・コメント
提出された意見と意見に対する市の考え方について

1. 実施概要

- (1) 募集期間 令和7年12月15日（月）～令和8年1月14日（水）
- (2) 資料閲覧場所 各図書館、行政資料室（市役所本庁舎11階）、船橋駅前総合窓口センター（フェイスビル5階）、各出張所・連絡所、各公民館、市のホームページ
- (3) 意見を提出できる方
- ① 市内に住所を有する方
 - ② 市内に通勤または通学されている方
 - ③ この案に関し利害関係を有する方（市内で事業を営む方など）
- (4) 提出方法 直接持参、郵送、FAX、電子メール、市のスマート申請サービスのいずれか

2. 実施結果

- (1) 提出者数 (スマート申請：2人)
- (2) 提出意見数 2件

(3) 提出された意見と意見に対する市の考え方

No	ご意見	市の考え方（案）
1	<p>学校で配布される図書館便りや YA だよりを自分から読もうとするのは、少なからず読書習慣のあるような生徒がほとんどだと思います。なので、もっと読書に触れる機会の少ない学生（特に親の読み聞かせの機会を失う中高生）に向けた施策を行ってほしいです。</p> <p>例えば、読書習慣を今まで持たなかった人の中には、自身の興味に合うジャンルを知らず本の選び方が分からないことが、読書に踏み出せなかった大きな理由の一つになっている層も多いのではないかと感じています。</p> <p>私も中学の終わりまで全く読書習慣がありませんでしたが、書店員による YouTube の「積読チャンネル」を通して読書に興味を持つようになりました。このように、SNS などで活動しているインフルエンサーと連携した取り組みは、読書習慣のない人、特に若い世代にとって有効だと考えます。市の施策として、このような層に対するきっかけを作れるような活動を行って頂きたいです。</p>	<p>若い世代に向けた施策についてのご意見ありがとうございます。中学生、高校生に向けた取り組みについては、今後 10 代中心に図書館で活動いただいている YA ボランティアのご意見等を反映しながら様々なアプローチを検討していきたいと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>結論から言えば、子供の読書習慣を増やすためには、図書館でも子供向けの漫画を扱うようにするべきだと考える。</p> <p>船橋市では学習漫画以外の漫画は置かれていないが、科学漫画サイバールシリーズは貸出回数も多いようでポロポロである。</p> <p>このことより、子供は読みやすい図書に飢えていると分かる。</p> <p>また、家庭環境によって読書環境は大きく異なるため、子供同士のコミュニケーションには共通の話題が必要となる。例えば鬼滅の刃やハイキュー、こち亀やケロロ軍曹、ゴルゴ 13 など子供たちに人気な漫画を扱うようにし、それを学校に告知することで子供の利用者を増やし、図書館の便利さに気付いてもらえると思う。</p> <p>そうすることで、子供たちは図書館に来る機会が増え、他の棚に</p>	<p>図書館の蔵書についてのご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、船橋市の図書館においては、所蔵資料につきまして「船橋市図書館資料収集方針」および「船橋市図書館資料収集基準」に基づき、選書を行っており、漫画は原則として収集しないものとしております。現時点では漫画を積極的に収集する予定はございませんが、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

もある本を見る機会が増え、本への自発的な興味を引き起こし、読書習慣を根付かせることができると考える。

以上です。

図書館への一般漫画の導入検討をお願いいたします。